

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	山村 恭子
授業の概要				
・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・Word文書処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格 ・Wordを用いて簡単なビジネス文書を作成することができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】山村 恭子 ・企業研修・国立大学・私立大学・専門学校・職業訓練校などでoffice全般指導 ・建築会社において営業事務兼CADオペレーターとして勤務(社内でofficeを使用しての表計算・社内・社外文書の作成・プレゼン資料の作成など)		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作 ・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作 1. Wordの基本 2. 文字の入力と編集の基本操作	※授業の目的と、評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Wordの起動・終了 日本語入力システム、文字の入力と変換、文書の保存 Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Wordの起動・終了		
2	2. 文字の入力と編集の基本操作 3. 文書の編集 4. 文書の印刷	文書の呼び出し、文字列のコピーと移動 ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付 ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法		
3	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題1と問題2部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
4	3. 文書の編集 5. 文書の作成 6. 表を使った文書の作成	罫線と網かけ 段落番号、箇条書き、インデント、タブ設定 表の作成、表の編集、表の装飾		
5	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題3と問題4(図形や画像抜いた)部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
6	7. 図形や画像を使った文書の作成	図形の作成、図形の編集、画像の挿入、横書きテキストボックスの挿入、ワードアートの挿入 ヘッダーやフッターへの図形や画像、ワードアートの挿入		
7	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題4(図形と画像部分)と問題5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		

回	テ ー マ	内 容		
8	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級サンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Wordクイックマスター2016基本編(ウィネット) 2016対応Word文書処理技能認定試験3級問題集(サーティファイ)		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
サービス接客検定3級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する お客さま心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける				
授業終了時の到達目標				
サービス接客検定3級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様の心理を理解することができる 他人への配慮を理解し、実践できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして17年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする				
回	テーマ	内容		
1	授業内容オリエンテーション 検定概要について	授業の目的 検定概要 授業の進め方について 評価方法について 準備物について 接客を学ぶ意義		
2	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている		
3	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ②適切な判断と表現ができる ③身だしなみを心得ている		
4	I サービススタッフの資質	2) 従業条件 ①良識を持ち、素直な態度がとれる ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる ③清潔感について、理解できる ④忍耐力のある行動を、とることができる		
5	I サービススタッフの資質	過去問題 I サービススタッフの資質		
6	II 専門知識	(1) サービス知識 ①サービスの意義を、一応、理解できる ②サービスの機能を、一応、理解できる ③サービスの種類を知っている		
7	II 専門知識	(2) 従業知識 ①商業用語、経済用語が理解できる 過去問題		

回	テ ー マ	内 容
8	Ⅲ一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識が理解できる ②時事問題を、一応、理解できる 過去問題
9	Ⅳ対人技能	(1) 人間関係 ①一般的に、人間関係が理解できる
10	Ⅳ対人技能	(2) 接客知識 ①対人心理が理解できる ②一般的なマナーを心得ている
11	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
12	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
13	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
14	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
15	Ⅳ対人技能	③接客者としてのマナーを心得ている
16	Ⅳ対人技能	③接客者としてのマナーを心得ている
17	Ⅳ対人技能	(3) 話し方 ①接客用語を知っている
18	Ⅳ対人技能	②接客者としての基本的な話し方が理解できる
19	Ⅳ対人技能	③掲示、説明の仕方が理解できる (4) 服装 ①接客者としての適切な服装が理解できる
20	Ⅳ対人技能	過去問題 Ⅳ対人技能
21	Ⅴ実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、理解できる
22	Ⅴ実務技能	(2) 環境整備 ①環境整備について、理解できる
23	Ⅴ実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、理解できる
24	Ⅴ実務技能	(4) 社交業務 ①社交儀礼業務について、理解できる
25	Ⅴ実務技能	過去問題 Ⅴ実務技能
26	Ⅴ実務技能	過去問題 Ⅴ実務技能
27	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能
28	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能
29	期末テスト	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能

回	テ ー マ	内 容		
30	期末テスト解説	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定3級公式テキスト タブレット		期末試験 課題・レポート	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
サービス接客検定2級取得のための勉強を通して、社会人としての必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける				
授業終了時の到達目標				
サービス接客検定2級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様心理を理解し、それに合わせた対応ができるようになる 他人への配慮を理解し、実践できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして17年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業を行う		
時間外に必要な学修				
買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする				
回	テーマ	内容		
1	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている。 ②適切な判断と表現ができる。		
2	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ③身だしなみを心得ている。 (2) 従業要件 ①良識を持ち、素直な態度が取れる。 ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる。 ③清潔感について、理解できる。		
3	I サービススタッフの資質	(2) 従業要件 ④忍耐力のある行動を、取ることができる。		
4	I サービススタッフの資質	過去問題 I サービススタッフの資質		
5	II 専門知識	(1) サービス知識 ①サービ意義を理解できる。 ②サービスの機能を理解できる。 ③サービスの種類を理解できる。		
6	II 専門知識	(2) 従業知識 ①商業活動、経済活動が理解できる。 ②商業用語、経済用語が理解できる。		
7	II 専門知識	過去問題 II 専門知識		
8	III 一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識がある ②時事問題を理解している		

回	テ ー マ	内 容
9	Ⅲ一般知識	過去問題 Ⅲ一般知識
10	Ⅳ対人技能	(1) 人間関係 ①人間関係の対処について、理解がある
11	Ⅳ対人技能	(2) 接客知識 ①顧客心理を理解し、能力を発揮することができる
12	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを発揮できる
13	Ⅳ対人技能	③接客者としてのマナーを発揮することができる
14	Ⅳ対人技能	(3) 話し方 ①接客用語を知っている
15	Ⅳ対人技能	②接客者としての話し方ができる
16	Ⅳ対人技能	③掲示、説明ができる (4) 服装 ①接客者としての適切な服装ができる
17	Ⅳ対人技能	過去問題（選択問題）
18	Ⅳ対人技能	過去問題（記述問題）
19	Ⅴ実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、対処できる (2) 環境整備 ①環境整備について、対処できる
20	Ⅴ実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、能力を発揮できる
21	Ⅴ実務技能	(4) 金品輸送 ①送金、運搬について、理解できる
22	Ⅴ実務技能	(5) 社交業務 ①社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力がある
23	Ⅴ実務技能	過去問題
24	Ⅴ実務技能	過去問題
25	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能
26	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能
27	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能

回	テ ー マ	内 容		
28	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
29	期末テスト	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
30	期末テスト解説	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇検定2級公式テキスト タブレット		期末試験 課題・レポート	90.0% 10.0%	検定結果を期末の 代わりにします。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀

授業の概要

講義

日本で飼われている種類を抜粋し生態、外観、飼育方法を身につける

授業終了時の到達目標

犬の種類や特徴を知り訓練や販売や看護の仕事で役にたつようにする
犬の生態を知ることによって扱いに気を配ることができる

実務経験有無

実務経験内容

有

トリマー、ブリーダー、ハンドラーとして27年
常にお客様から受ける相談をもとに授業をすすめる。

時間外に必要な学修

グルーミング実習時に担当した犬種をよく観察すること

準備学習

次に授業でする犬種のところを教科書で予習する。

回	テーマ	内容
1	なぜ犬の種類ができたのか	犬の種類がなぜ増えていったのかを説明する
2	犬の体を知ろう	犬の部位名称や歯列やかみ合わせの説明
3	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	第1グループに属する犬種の特徴と各犬種の特徴 オーストラリアン・シェパード・ボーダーコリー
4	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエルシュ・コーギーペンブローグ ウエルシュ・コーギーカーディガンの違いの説明
5	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ジャーマンシェパードの説明 シェパードの歴史と牧羊犬の役割の解説
6	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ラフ・コリーとスムース・コリー、シエルティの解説 作出に関しての歴史の説明
7	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	大型犬の作出の歴史を説明 グレート・ピレニーズの解説
8	第3グループ犬種説明と各犬種の説明	テリアの特徴の説明と ジャックラッセルの説明
9	第3グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエストハイランドホワイトテリア スコティッシュテリア 短脚テリアのまとめ
10	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	長脚テリアの特徴の説明 種類の解説 管理方法
11	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ヨークシャテリアの説明 それに影響された犬種の説明
12	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ワイヤーフォックステリア説明
13	小テスト	期末試験までの準備のため
14	期末試験のためのおさらい	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	最新犬種図鑑	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義 犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする				
授業終了時の到達目標				
犬の特徴を知りお客様の相談に対応できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー、ハンドラー、ブリーダー歴27年の経験から日頃お客様と対応する内容をもとにアドバイスができる		
時間外に必要な学修				
実習関連時に犬をよく観察すること				
回	テーマ	内容		
1	第4グループ犬種説明	ダックスフンドの特徴と沿革の説明		
2	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	シベリアンハスキーとアラスカンマラミュートの違い		
3	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	ポメラニアンや他のスピッツタイプの説明		
4	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	日本犬の特徴と説明		
5	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ビーグルなどの説明		
6	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ダルメシアンの特徴		
7	第7グループ犬種説明と各犬種の説明	セターとワイマラナーの説明		
8	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	アメリカン・コッカーの説明		
9	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	スパニエル系のまとめ		
10	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	レトリバー系のまとめ		
11	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	プードルの説明		
12	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	チワワキャバリアなどの説明		
13	小テスト	期末試験の準備		
14	第10グループ犬種説明と各犬種の説明	サイトハウンドの特徴		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
最新犬種図鑑		期末試験 出席率	90.0% 10.0% 準備学習 次にする犬種をイ メージするために 本を読んでおく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義 犬の毛や手入れの基礎を知り 犬の管理を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
2年次トリマー3級合格のため お客様の犬の手入れができるようにする				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー、ブリーダー歴27年の経験か 犬の管理でよく困ったことなどをもとに 学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
グルーミング実習に反映させること				
回	テーマ	内容		
1	なぜ美容が必要か	犬に対して何が必要かを説明する。		
2	クリップ名称の説明	トリミングの形や基本的な用語の説明		
3	犬の皮膚の構造	犬の皮膚がどうなっているのかを説明する		
4	犬の被毛について説明	犬の被毛がどうなっているのか 犬種によって		
5	シャンプーについて	シャンプーの種類の説明		
6	シャンプーについて2	どのような犬にどのタイプのシャンプーを選んだらよいかの説明		
7	ドライヤーについて	ドライヤーの使用方法和目的		
8	バリカンについて	バリカンの種類から使用方法の説明		
9	プードルのバリカンに入れ方	プードルのバリカンの入れ方といれる意味の説明		
10	小テスト	期末試験の準備		
11	プードルのトリミングの基礎をしる	トリミングの基礎としてプードルの種類とペットクリップの形をしる		
12	プードルのスタンダードの絵描き	プードルの理想に近い絵がかけるようになる。		
13	ケネル&ラムのトリミングの説明	トリミングの説明		
14	ケネル&ラムのトリミング説明			
15	期末試験			

回	テーマ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	ドッググルーミングマニュアル	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	実習の前に授業内容を常に確認すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASIC I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	森, 三村, 北村, 野崎, 濱野は
授業の概要				
グルーミングに必要な犬の扱いと、美容用具の扱い方を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
正しい作業方法を覚える(ブラッシング、ベイジング、ドライイング、爪切り、耳そうじ、クリッピング、足回り)				
実務経験有無	実務経験内容			
有	森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 野崎真優 トリマーとして5年 濱野春菜 トリマーとして4年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	導入	実習における注意事項を説明 道具の種類および使用方法を説明 グルーミングの作業の流れを説明		
3~23	基礎	シザーの持ち方・開き方を学ぶ ブラッシング・ベイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ		
24	シザーテスト(第一回)	シザーの持ち方・開き方・開く角度を採点		
25~43	基礎	引き続き、ブラッシング・ベイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ クリッパーの使い方を学ぶ		
44	シザーテスト(第二回)	開閉速度・耐久力・正確さを採点		
45	基礎	グルーミング作業の復習とスピードアップ シザーテスト合格者から足回りのカットを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASICⅡ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	森, 三村, 北村, 野崎, 濱野は
授業の概要				
グルーミング作業(ブラッシング・ペイジング・ドライング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り)を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
1人でグルーミング作業をできるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 野崎真優 トリマーとして5年 濱野春菜 トリマーとして4年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	基礎の復習	グルーミング犬種を中心に実習を行い前期に学んだ基礎の復習を行う		
11~20	基礎と応用	基礎の復習 犬種やサイズ、被毛の状態に合わせた作業方法の応用		
21~45	作業速度の向上と犬種別の対応	二人ペアで行っていた作業を一人でどのような犬種でも作業ができるようになる 全作業のスピードアップ(時間を意識して作業を行う)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物を取り扱う仕事に就く上で必要となる救命救急や消毒、健康管理法などの動物看護についての知識を座学、実習を通して学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
動物の異常所見の早期発見、救急時の対処法を理解し、実践することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として7年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	動物看護学概論	動物を扱う仕事に就く上で動物看護がどのように必要となるかを学ぶ。		
2	フィラリア症について	犬にとって気をつけなければいけないフィラリア症について学ぶ		
3	狂犬病について	人獣共通感染症である狂犬病について学ぶ		
4	混合ワクチンについて①	犬猫の感染症予防で用いられるワクチンについて学ぶ		
5	混合ワクチンについて②	犬猫の感染症予防で用いられるワクチンについて学ぶ		
6	救命救急①	救命時の対処法を学ぶ(チアノーゼ)		
7	救命救急②	救命時の対処法を学ぶ(熱中症)		
8	救命救急③	救命時の対処法を学ぶ(創傷/切り傷)		
9	救命救急④	救命時の対処法を学ぶ(跛行)		
10	救命救急⑤	救命時の対処法を学ぶ(発作)		
11	動物看護実習①	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
12	動物看護実習②	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
13	動物看護実習③	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
14	動物看護実習④	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内 容	
	トリマーのためのベーシック獣医学	期末試験 出席率	80.0% 20.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	北村 峻也
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、適正な飼養・健康管理、各種動物の飼養管理、犬の繁殖学等の知識を体系的に修得・普及する指導員を養成する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・JKC愛犬飼養管理士の取得 ・ペットの習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などの知識を身に付ける 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナー・トリマーとして3年の実務経験。これまでの経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	第1章 動物愛護	1. 日本における動物愛護の歴史 2. 日本の動物愛護の現状 3. 世界の動物愛護の現状		
3~6	第2章 動物愛護のための法律知識	動物の愛護及び管理に関する法律の歴史・内容		
7	第3章 適正な飼育管理	1. 飼い主として果たすべき責任 2. 住宅密集地での犬の飼育 3. 集合住宅での犬の飼育		
8~10	第4章 適正な健康管理	1. 健康管理 2. 栄養と食事 3. 感染症と予防接種・寄生虫 4. 人と動物の共通感染症		
11	第5章 犬の繁殖学	1. 健康な犬の繁殖 2. 繁殖家の守るべき心得 3. 犬の繁殖整理		
12~13	第6章 犬学	1. 犬の歴史学 2. 犬の素晴らしい能力、犬の五感 3. 犬の生態		
14~15	第7章 猫、その他の動物	1. 猫 2. ウサギ 3. ハムスター 4. インコ、オウム等の鳥類 5. カメ		
16	愛玩動物飼養管理士の社会活動	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的・事業 愛玩動物飼養管理士とは ボランティア活動のとりえ方		

回	テーマ	内容		
17	人と動物の関係学 I	人と動物のかかわり方を考える アニマルアドボケートとして 「動物観」とはなにか 日本人の動物観 海外の動物観 日本人とペットの歴史		
18	人と動物の関係学 I	多種多様な動物愛護思想とその歴史 近代的動物愛護運動の始まり イギリス・アメリカの動物愛護運動 日本の動物愛護運動①		
19	人と動物の関係学 I	日本の動物愛護運動② 現代の動物愛護とその思想		
20	人と動物の関係学 I	利用目的により異なる関わり方 動物とのふれあいとその効用		
21	動物関係法令概説 I	法令とは 動物関係法令の概要 動物の愛護及び管理に関する法律の概要		
22	動物の愛護及び管理に関する法律	基本原則と飼い主の責任		
23	動物の愛護及び管理に関する法律	動物の飼養及び保管に関する基準		
24	動物の愛護及び管理に関する法律	動物取扱業		
25	動物の愛護及び管理に関する法律	虐待等罰則 特定動物		
26	動物の愛護及び管理に関する法律	動物愛護週間と普及啓発 動物愛護推進員と動物愛護推進協議会		
27	動物の愛護及び管理に関する法律	犬や猫の引き取りと不d小動物の収容 周辺的生活環境の保全等		
28	飼育動物と関係法令	狂犬病予防法 身体障害者補助犬法		
29	飼育動物と関係法令 野生動物と関係法令	ペットフード安全法 鳥獣法		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛犬飼育管理士教本		期末試験	100.0%	【事前学習】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	北村 峻也
授業の概要				
動物飼養の理解と検定取得 ・動物に関する法律・動物の習性・疾病・適切な飼養管理について学び、愛玩動物と人との共存を考える ・愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士2級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナー・トリマーとして3年の実務経験。これまでの経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストや問題集を用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	ペット業界の現状と広がり	ペット業界の歴史 ペット業界の現状とこれからの課題		
2	動物の体の仕組みと働き	からだの基本の仕組み		
3	動物の体の仕組みと働き	栄養を取り入れる		
4	動物の体の仕組みと働き	酸素を取り入れる		
5	動物の体の仕組みと働き	老廃物の排出、異物の撃退と解毒		
6	動物の体の仕組みと働き	情報を取り入れる		
7	動物の体の仕組みと働き	体内の情報伝達		
8	動物の体の仕組みと働き	子供を産み育てる		
9	試験対策	課題報告問題を解く		
10	期末試験			
11	動物の飼養管理総論	動物の適正な飼養管理 動物の健康増進と疾病予防		
12	動物の飼養管理総論	環境衛生 飼養衛生		
13	動物の飼養管理総論	ペットのケガや事故への対応 災害に備える 血統書		
14	動物の飼養管理総論	動物取扱業 動物の繁殖		
15	動物の飼養管理各論	犬の飼養管理		

回	テーマ	内容		
		評価基準	評価率	その他
	教科書・教材			
	熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材 就職の手引き	課題・レポート 出席率	60.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物行動学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。				
動物と人間がいかに共存できるか学習する。				
授業終了時の到達目標				
動物の行動習性について正しい知識を学ぶことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	生得的行動・習得的行動	遺伝・行動・学習ができる		
3~ 4	パブロフの犬	条件付け・古典的条件付け・条件反射・無条件反射ができる		
5~ 6	オペラント条件付け	イルカトレーニング・クリックートレーニングができる		
7~ 9	犬の五感	臭覚・視覚・聴覚・触覚・味覚を知る		
10~ 12	ホルモンと行動	去勢・避妊を知る		
13~ 15	愛護	パピーミル・殺処分・子犬の流通システムを知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけトレーニング実習Ⅰ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の社会化を身につける。				
授業終了時の到達目標				
トイレのしつけができる・社会に慣れさせることが出来る・飼い主とのコミュニケーションがとれるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして35年の実務経験。 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルになること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1～5	犬の社会科について	犬の社会科について考え、学ぶ		
6～10	トイレの教え方	失敗しないためのトイレの教え方を学ぶ		
11～15	アイコンタクト	目と目を合わせることで信頼関係を築く		
16～20	クリッカーについて	クリッカーの使い方を学ぶ		
21～25	シェーピングについて	動物に行動を科学的に教える		
26～30	呼んでくる	招呼を学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけトレーニング実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
担当犬と信頼関係を築く				
授業終了時の到達目標				
C級試験に合格する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	脚側行進	一緒にあるく		
11~30	招呼	呼ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	藤原 あかね
授業の概要				
色々な障害物をクリアさせる。				
授業終了時の到達目標				
簡単なハードル、トンネルをのーリードでクリアすることが出来るようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	トレーナーとして5年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	障害の説明	色々な障害物の名前を覚える		
2	道具の組み立て方	様々な道具の組み立て方を覚える		
3~5	ハードルを飛ぶ	ハードルの飛ばせ方を覚える		
6~8	難しいハードルを飛ぶ	難易度のハードルの飛ばせ方を覚える		
9~11	トンネルをくぐる	トンネルのくぐらせ方を覚える		
12~15	ハードルとトンネルの簡単なコースをクリアする	ハードルとトンネルを使った簡単なコースを完走させる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	藤原 あかね
授業の概要				
遠隔で犬と人が意思を通じ合わせる 簡単なアジリティを知る				
授業終了時の到達目標				
簡単なコースを走れる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	トレーナーとして5年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~7	スラローム初級	スラローム 初級レベルができる		
8~14	ハードル中級	ハードル 中級レベルができる		
15~21	ハードルとトンネル	ハードル 中級レベルができる トンネル		
22~30	簡単なコースを走る	簡単なコースを走れるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグトレーニング概論Ⅰ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 トレーニングの基礎を犬の生態含めて理解する				
授業終了時の到達目標				
犬と人の共生推進協会主催 家庭犬しつけインストラクター検定C級				
実務経験有無		実務経験内容		
有		警察犬訓練所で5年働いた経験をいかし 学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
座学の内容を実技に反映させること				
回	テーマ	内容		
1	犬体用語の理解	試験で使用される用語を知る		
2	トレーニング用語の理解	試験で使用される用語を知る		
3~ 4	犬の習性の理解	犬の習性を理解し犬と向き合う大事さを知る		
5	問題行動の現状	問題行動とはどんなことか		
6~ 8	問題行動の対処の仕方	よくある問題行動の対処の仕方を知ろう		
9~ 10	預かり犬のトレーニングプログラム	トレーニングの順番を学ぼう		
11~ 12	クライアントに対してのマナー	クライアント(飼い主)に対してのマナー		
13~ 14	過去問題及び模擬問題の解説	ライセンス試験に向けて勉強		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCトレーニングマニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグケア学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
仔犬から老犬まで犬の生涯にわたってのケアを把握する 飼い主のためにいつでも相談できるようにする				
授業終了時の到達目標				
ドッグコンシェルジュになれるように 知識を身につけることができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		犬の仕事について20年以上の経験から、飼い主から相談にのることが多い。 その経験を活かし学生のロールモデルになること		
時間外に必要な学修				
自分の担当犬のおきかえて 日々観察すること				
回	テーマ	内容		
1	仔犬を飼う	仔犬を飼うために気を付けることや準備を知ることを知る		
2	仔犬の環境作り	環境づくりがしつけにかかわることを知る		
3	仔犬の成長に関して	仔犬の心の成長を知り行動の意味を知る		
4	ハウスの必要性	ハウスがしつけや今後の生活のための必要なことを知る		
5	食事の与え方	食事は生きていくために重要であるがしつけにおいても重要であることを知る		
6	トイレについて	トイレをどうやって教えるのか犬の生態を含めて教える		
7	トレーニングの始め方	家に来た日からトレーニングが始まる どのように始めるかを知る		
8	反抗期の対処の仕方	家に来て2か月くらいすると犬の反抗期がくる その時期の乗り切り方を知る		
9	お手入れの必要性	お手入れがしつけの面で必要であることを知る		
10	病気の早期発見	病気の早期発見を知り飼い主さんの心の負担を減らす 方法を知る		
11	仔犬が成長してから老年期までの過ごし方	犬が年寄りと思うまでの間の気を付けることを知る		
12	老年期の判断	犬を年寄りと判断する内容を知る		
13	老年期について	老犬の飼い方環境について知る		
14	なくなった時のこと	愛犬が亡くなった時のことについて		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
		期末試験	90.0%
		出席率	10.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ハンドリング学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学、実技 ドッグショーのルールを知り担当犬と試験に合格できるようにトレーニングする				
授業終了時の到達目標				
JKCハンドラーC級取得 犬の特徴を生かしてトレーニングすることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ハンドラー歴27年をいかし 犬の気持ちを知り動かすノウハウを伝授する		
時間外に必要な学修				
常に担当犬とスキンシップをとり 犬との距離を縮めること				
回	テーマ	内容		
1	ハンドリングとはなにか	ドッグショーの仕組みと試験内容の説明		
2	試験の内容	試験のルールの説明をする		
3	実技リードの使い方	正しい犬のリードのかけ方を犬を使って説明する		
4~5	ハンドリング中の正しい姿勢の取り方	犬に静止させるときの正しい指導種の姿勢の形を説明する		
6~7	犬とコミュニケーションの取り方	犬と仲良くなるための方法を説明し実際にやってみる		
8~15	試験内容の練習	ハンドラーC級の試験内容に基づいた項目を担当犬と繰り返し練習する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCハンドリングマニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	事前学習 犬と常にスキンシップをとる